



令和4年8月26日  
総合政策局海洋政策課

## 海の次世代モビリティを用いた実証実験2件を追加選定しました！

～沿岸・離島地域の課題解決のため、海の次世代モビリティの新たな利活用法の検証開始～

国土交通省では、海の次世代モビリティの沿岸・離島地域における新たな利活用を推進する「令和4年度 海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」について、2件の実証実験を追加選定しました。

国土交通省では、ASV（小型無人ボート）やいわゆる海のドローンとして活用が期待されるAUV（自律型無人潜水機）、ROV（遠隔操作型無人潜水機）等の「海の次世代モビリティ」を活用した沿岸・離島地域の海域利活用に係る課題解決を推進しています。

このたび、「海の次世代モビリティ」技術と海域利用者のニーズとのマッチングにより、我が国沿岸・離島地域における新たな利活用を推進する「令和4年度 海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」において、有識者による審査会を経て、以下の2件の実証実験を追加選定しましたので、お知らせいたします。

なお、この2件については、実験内容に関して確認の必要な事項があったことから、これまで採否を留保していたものです。今般、必要事項を確認できたことから、追加選定することとしました。

※本事業では既に5件の実証実験を選定しております。（7月29日発表）

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo11\\_hh\\_000064.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo11_hh_000064.html)

代表者	実証実験の名称
(株)竹中工務店	自動運転船舶ロボットによる『アート&レストランロボット』の実用化実験
炎重工(株)	群島状である東京ベイエリアにおける分散型モビリティとしての「渡し舟ロボット」の活用実証実験事業

※代表者五十音順、実証実験の概要は別紙参照。

（参考）海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業 HP

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/ocean\\_policy/sosei\\_ocean\\_fr\\_000015.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/ocean_policy/sosei_ocean_fr_000015.html)

国土交通省総合政策局海洋政策課 田尻、楠目、谷野

TEL 03-5253-8111（内線 24364、24375、24366） 03-5253-8266（直通）

FAX 03-5253-1549